

郡山市教育振興基本計画審議会 第1回審議会 開催結果

1. 会議概要

- (1) 日時：令和6(2024)年7月1日(月)午後1時30分～午後2時30分
- (2) 場所：郡山市役所 西庁舎5階 5-1-1会議室(郡山市朝日一丁目23-7)
- (3) 出席委員：阿部 光浩 委員、國分 球子 委員、鈴木 隆 委員、鈴木 由佳 委員、高橋 信男 委員、武村 陽 委員、丹治 勇喜 委員、圓谷 円 委員、中田 スウラ 委員、難波 和生 委員、箱崎 文子 委員、橋本 勉 委員、宗形 潤子 委員、李 莉岩 委員、渡辺 宗朋 委員(全15名)
- (4) 欠席委員：なし(0名)

2. 会議内容

(1) 会長・副会長選出：

郡山市教育振興基本計画審議会条例第3条第1項の規定に基づく委員の互選により、会長・副会長を選出しました。

会長 中田 スウラ 委員(放送大学福島学習センター所長)

副会長 宗形 潤子 委員(福島大学大学院教職実践研究科長)

(2) 諮問：

小野 義明 郡山市教育委員会教育長から、中田 スウラ 会長に対し、郡山市教育振興基本計画の策定に係る諮問書が手交されました。

(3) 議事：

①郡山市教育振興基本計画について
事務局から第4期郡山市教育振興基本計画の基本的な考え方を説明しました。



左から小野教育長、中田会長、宗形副会長

【質疑応答】

Q：第3期郡山市教育振興基本計画の成果と課題などはありますでしょうか。(鈴木 隆 委員)

A：第3期郡山市教育振興基本計画の成果とその課題については、今後開催する専門分科会でお示しして、ご意見を伺ってまいります。(渡辺 啓一 部次長兼総務課長)

Q：郡山ユースワークショップにおける提言については、第2回専門分科会で、ご報告いただけるとのことですが、本ワークショップに審議会委員の参加は予定されていますでしょうか。子どもたちが当事者となりますので、どのような議論の中でこの結論が出たということは審議会委員も把握できればと思っています。(武村 陽 委員)

A：今後、ワークショップの内容を決定してまいりますので、伺ったご意見については調整してまいります。(渡辺 啓一 部次長兼総務課長)

Q: 8月から専門分科会が始まるということですが、例えば第1回専門分科会の市民アンケート調査結果、現計画の成果と課題等というのが、同資料の3(1)における公募型プロポーザル方式により業務委託をされて、受注された企業の支援を受けて、専門分科会に資料が上がってくると捉えてよろしいですか。(國分 球子 委員)

A: 昨年度実施しました市民アンケート調査結果の分析業務についても、支援業務に含まれております。(渡辺 啓一 部次長兼総務課長)

②専門分科会について

郡山市教育振興基本計画審議会運営要綱の規定に基づき、審議会に2つの専門分科会を置き、各専門分科会の委員を会長が指名しました。なお、分科会長については、後日開催予定の第1回専門分科会において、委員の互選により決定されます。



第1回審議会とその後開催された「教育とウェルビーイング Well-being」ウェビナー聴講の様子

第1専門分科会 (学校教育分野) 8名 (順不同)

- 阿部 光浩 委員 (私立幼稚園・認定こども園連合会会長 / 学校法人小原田学園理事長)
- 高橋 信男 委員 (郡山市PTA連合会副会長 / 郡山市立芳山小学校PTA会長)
- 武村 陽 委員 (郡山市いじめ問題対策連絡協議会 委員 / 福島県弁護士会子どもの権利に関する委員会 人権救済部会長)
- 丹治 勇喜 委員 (株式会社エフコム R&D 戦略室室長)
- 難波 和生 委員 (郡山市小学校長会副会長 / 郡山市立芳山小学校長)
- 橋本 勉 委員 (福島県特別支援教育センター企画事業部長)
- 宗形 潤子 委員 (福島大学大学院教職実践研究科長)
- 渡辺 宗朋 委員 (尚志高等学校副校長)

第2専門分科会 (生涯学習分野) 7名 (順不同)

- 國分 球子 委員 (NPO 法人民俗芸能を継承するふくしまの会事務局長)
- 鈴木 隆 委員 (郡山市家庭教育を支援する会会長)
- 鈴木 由佳 委員 (お片づけ時短コンサルタント / シニアのお片づけコンサルタント)
- 圓谷 円 委員 (郡山市行政相談委員 / 学校法人吉野学園わかば幼稚園 学校心理士)
- 中田 スウラ 委員 (放送大学福島学習センター所長)
- 箱崎 文子 委員 (ユースカレッジ木曜クラブ)
- 李 莉岩 委員 (福島県国際交流協会理事)

③その他

8月の第1回専門分科会の日程について説明しました。

第1回専門分科会 (学校教育分野): 令和6(2024)年8月9日(金)

〃 (生涯学習分野): 令和6(2024)年8月8日(木)

3. 「教育とウェルビーイング Well-being」 ウェビナー概要

- (1) 日時：令和 6 (2024) 年 7 月 1 日 (月) 午後 2 時 30 分～午後 4 時 10 分
- (2) 場所：オンライン (Zoom ウェビナー)
審議会委員のみ {郡山市役所 西庁舎 5 階 5-1-1 会議室 (郡山市朝日一丁目 23-7)}
- (3) 目的：第 4 期郡山市教育振興基本計画の策定に係る外部ヒアリングの一環として、審議会委員をはじめ、教育委員会や各小中学校を対象とした有識者によるウェビナーをハイブリッド形式で開催し、教育におけるウェルビーイングの重要性と課題、そして、教育現場における実践事例を学ぶことを目的とします。
- (4) オンライン参加者数：約 50 名
- (5) 出席委員：阿部 光浩 委員、國分 球子 委員、鈴木 隆 委員、鈴木 由佳 委員、高橋 信男 委員、武村 陽 委員、丹治 勇喜 委員、圓谷 円 委員、中田 スウラ 委員、難波 和生 委員、箱崎 文子 委員、橋本 勉 委員、宗形 潤子 委員、李 莉岩 委員、渡辺 宗朋 委員 (全 15 名)
- (6) 欠席委員：なし (0 名)

4. 「教育とウェルビーイング Well-being」 ウェビナー内容

- (1) 基調講演 {午後 2 時 35 分～午後 3 時 25 分 (50 分)}：

「ウェルビーイングを実現する教育の在り方、教育をより良くするための視点とは？」

鈴木 寛 氏

東京大学公共政策大学院 教授

慶應義塾大学政策・メディア研究科特任 教授

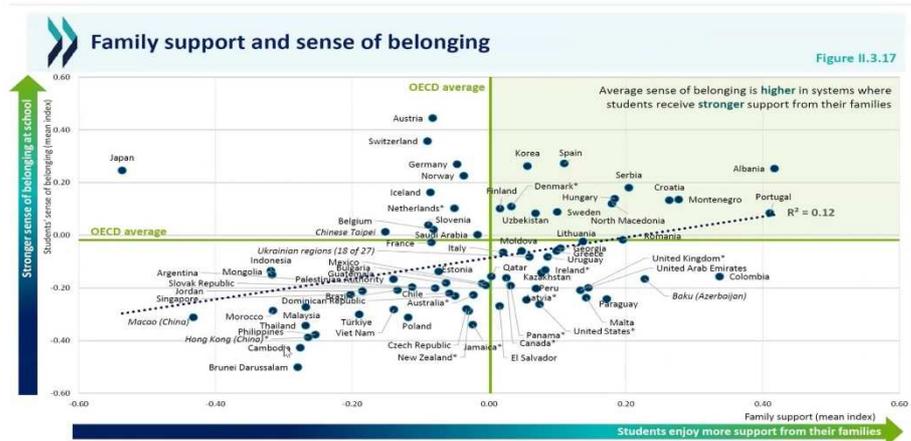
ウェルビーイング学会 副代表理事



東京大学公共政策大学院 教授 / 慶應義塾大学政策・メディア研究科特任 教授 / ウェルビーイング学会副代表理事 / 元文部科学副大臣・全文部科学大臣補佐官の鈴木 寛氏から、「ウェルビーイングを実現する教育の在り方、教育をより良くするための視点とは？」をテーマに、基調講演をいただきました。

2022 年度に実施された経済協力開発機構 (OECD) の学習到達度調査 (PISA) の結果を通して見える日本の子どもたちが抱える課題、ウェルビーイング関係指標の状況、国の第 3 期教育振興基本計画を踏まえた今後の学校教育の視点と教職員のウェルビーイングを高める等を解説いただきました。

家族からのサポート、生徒からは最低評価



(2) 事例発表 {午後 3 時 25 分～午後 4 時 05 分 (40 分)} :

「ウェルビーイングな学校をつくろうー子どもたち、教職員や地域のウェルビーイングを高めるには、子どもが毎日行きたい、先生が働きたいと思える学校づくり」

中島 晴美 氏
埼玉県上尾市立上平小学校 校長



埼玉県上尾市立上平小学校 校長 中島 晴美氏から「ウェルビーイングな学校をつくろうー子どもたち、教職員や地域のウェルビーイングを高めるには、子どもが毎日行きたい、先生が働きたいと思える学校づくり」をテーマに、事例発表をいただきました。子どもたち、教職員、そして保護者・地域の方々に対するウェルビーイングな学校づくりの具体的な取り組みと、これまでの成果と課題について紹介いただきました。

児童 ① 外遊びの奨励 体育の時間に運動量を高める活動

郡山市教育委員会

中島 晴美氏